



三芳町 AR 検索

医ケア児の今と未来 関心を持ち続けて

ママケア5周年シンポジウム

7月22日(日)、中央公民館で行われたママケア5周年記念シンポジウム。家族による医療的なサポートが常に必要な「医療的ケア児」について、障がいの有無に関わらず同じ地域に住む人として、関わりを持つことが大切だと語られました。障がいがあってもなくても、誰もが自分らしく暮らすことのできる町をめざします。



↑オペラ歌手の晴雅彦氏、ピアノの白石真紀氏によるロビーコンサートも。



↓ホストタウン事業を共に盛り上げることを約束しました。



オリパラを一緒に盛り上げよう！ コカ・コーラボトラーズと連携協定

7月30日(月)、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社と連携協力に関する包括協定を締結しました。東京2020大会ではオランダを相手国としたホストタウンとして登録された三芳町。ホストタウン事業等を連携して盛り上げていきます。大会までの期間を「三芳オリンピックカード」として町一丸となって応援し、スポーツはもちろん、芸術や文化を通じたまちづくりを推進していきます。

↓8月号の表紙の咲良ちゃんも、念願の蕎麦デビューを果たしました。



待ちに待ったそば打ち体験！ 農と食(店)をつなぐプロジェクト

8月号で特集した「農と食(店)を繋ぐプロジェクト」のそば打ち体験が8月1日(水)に農業センターで行われました。そば屋さんによる指導のもと、自分たちで作った三芳そばを旧島田家で堪能。種まきからそば打ちまでの全工程に参加された人には、修了証書が手渡され、「みよしそばマイスター」の称号が与えられました。



平地林で遊んで 緑豊かな自然を体験！

ネイチャーイベント大盛況

7月21日(土)、輝く太陽の下、緑のトラスト14号地「藤久保の平地林」でネイチャーイベントが開催されました。丸太切り・クラフト体験・自然観察など、自然の中でしかできない体験ができ、来場した人は身近な自然の魅力を全身で実感。木陰では時折爽やかな風が吹き、来場した人々を癒していました。



↑ステージでは、キッズダンスやアカペラなどが披露され、大賑わいでした。

↓えだまめの大きな葉と枝を引き抜くのに、子どもたちは一苦労。



落ち葉堆肥農法で栽培 えだまめ収穫体験

三富落ち葉野菜研究グループが育てたえだまめを、ヒモ1本で縛れる分だけ収穫できるえだまめの収穫体験。今年は台風により7月29日(日)に順延となりましたが、大勢の人が足を運んでいました。少しでも多く収穫できるように、ヒモへの枝の差し方を指南する農家の姿も。来場者には「塩」がプレゼントされ、帰ってから塩茹でしたプリプリのえだまめを堪能したことでしょう。

↓県内12市町の取り組みが評価され、表彰されました。



埼玉県を1番の健康長寿県に 健康長寿優秀市町村表彰式

7月17日(火)、知事公館で行われた健康長寿優秀市町村表彰式。三芳町は平成27年度から健康長寿事業「みよし野菜 食べて！歩いて！健康長寿！」に取り組み、3年連続の表彰。表彰された12市町の首長との意見交換会では「県全体で取り組むことが重要」と知事は話し、埼玉県を元気で長生きできる住みやすい県にするために、力を合わせていくことを確認しました。